

情報通信審議会 総会（第 57 回）議事概要

1 日時 令和 8 年 7 月 10 日（金）14:30～15:19

2 場所 第 1 特別会議室（Web 会議併用）

3 出席者

（1）委員（敬称略）

遠藤 信博（会長）、浅川 秀之、荒牧 知子、石井 夏生利、伊丹 誠、
市毛 由美子、井上 由里子、今井 朝子、内山 隆、江崎 浩、
大柴 小枝子、岡田 羊祐、加藤 寧、閑歳 孝子、桑津 浩太郎、
甲田 恵子、小島 隆洋、竹内 健蔵、丹 康雄、東條 吉純、
長谷山 美紀、藤井 威生、増田 悦子、横田 純子（以上 24 名）

（2）総務省

堀内 詔子（総務副大臣）、竹村 晃一（総務審議官）、
山崎 良志（官房長）、赤阪 晋介（官房総括審議官）

（国際戦略局）

布施田 英生（国際戦略局長）

（情報流通行政局）

豊嶋 基暢（情報流通行政局長）、牛山 智弘（郵政行政部長）

（総合通信基盤局）

湯本 博信（総合通信基盤局長）、飯倉 主税（総務課長）、
翁長 久（電波部長）、小川 裕之（電波部 電波政策課長）、
金子 裕介（電波部 電波政策課 企画官）、
豊重 巨之（電波部 電波政策課 室長）、
山野 哲也（電波部 基幹・衛星移動通信課長）
田邊 大（電波部 電波環境課 監視管理室長）

（サイバーセキュリティ統括官）

三田 一博（サイバーセキュリティ統括官）

（3）事務局

中村 裕治（情報通信政策課長）

4 議 題

(1) 答申案件

「社会環境の変化に対応した電波有効利用の推進の在り方」について

【令和7年2月3日付け諮問第30号】

【内容】

社会環境の変化に対応した電波有効利用の推進の在り方に関する検討課題について、審議を行ったもの。審議の結果、情報通信技術分科会から報告があったとおり、第一次中間答申（案）を了承し、第一次中間答申とすることとした。

(2) 議決案件

情報通信審議会議事規則の一部改正について

【内容】

「社会環境の変化に対応した電波有効利用の推進の在り方」（令和7年2月3日付け諮問第30号）のうち専門的・技術的な検討事項については、電波の利用技術について有効利用を図るための政策に関する事項のうち専門的・技術的な事項として情報通信技術分科会の専決事項とすることについて事務局から提案があったもの。

審議の結果、提案のとおり、情報通信審議会議事規則の一部改正について了承した。

(3) 報告案件

情報通信技術分科会及び各部会の活動状況について

【内容】

情報通信技術分科会及び各部会の活動状況について、事務局より報告があったもの。

本会議にて配付された資料を御覧になりたい方は、総務省 HP において公開しておりますので御覧下さい。

また、総務省において、閲覧に供し及び貸し出しておりますので、以下まで御連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報通信審議会事務局

坪内補佐、岡本補佐、東出係長、斉藤官

電 話：０３－５２５３－５４３２

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策のため、送信時は/●/を@に置き換えてください。